

2024 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

2 中期的目標

1. 建学の精神を土台とした私学の独自性
 - (1) 建学の精神の理解と実践と教育計画の構築
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり
 - (1) 基礎学力の徹底
 - (2) 独自のカリキュラムづくり
 - (3) 教員の指導力向上
3. 自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成
 - (1) 基本的生活習慣の育成
 - (2) 規律遵守の向上
4. 社会性を培う集団活動の充実
 - (1) 社会性や市民性を育む体験活動
5. 主体的な生き方の尊重
 - (1) 主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成
6. 安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実
 - (1) 防災教育・不審者対策
 - (2) 危機管理と情報モラル
 - (3) 美化
7. 内部連携の強化
 - (1) 内部連携の強化
8. 生徒募集の対策
 - (1) 生徒募集対策

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

*学校教育自己診断の結果と分析(2024年11月実施)

	3年～6年 児童対象学校評価アンケート	2023年	2024年
問1	学園小に入学してよかった。	4.6	4.7
問2	先生は、みんなをかしこくするためにがんばっている(2023年まで) 先生の話や授業を聞いて、私はかしこくなっている。(2024年)	4.6	4.1
問3	先生の教え方は、くふうしていてわかりやすい。(2023年まで) 先生は、授業の教え方や内容を工夫している。(2024年)	4.4	4.3
問4	学園小には、自分で決めたり選んだりできることがたくさんある。	4.4	4.5
問5	わたしは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) わたしは、やる気をもって学習している。(2024年)	4.2	4.1
問6	学園小の行事は、楽しい。	4.8	4.8
問7	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.3	4.2
問8	先生は、きまりやマナーに力を入れている。(2023年まで) 先生は、きまりやマナーを守ることを教えてくれる。(2024年)	4.5	4.6
問9	わたしは、きまりやマナーを守っている。	4.2	4.0
問10	わたしは、児童会活動や係の活動をがんばっている。	4.7	4.6
問11	わたしは、学校で友達とうまくいっている。	4.4	4.3
問12	先生と子どもたちとは、うまくいっている。	4.2	4.5
問13	けんかやいじめがあったら、先生はすぐに話を聞いてくれる。	4.3	4.3
問14	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.1	4.0
問15	学園での習い事は、楽しい。	4.2	4.0
問16	学園での建物や道具は、安全で使いやすくなっている(2023年まで) 学校の教室や運動場は、安全で使いやすくなっている。(2024年)	4.3	4.2
問17	教室や学校の中は、いつもきれいになっている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓がきちんとしてきている。(2024年)	3.8	4.2
問18	先生は、成績のお知らせやお手紙をきちんと出している(2023年まで) 先生は、学校生活のことや学級のことを、わかりやすく伝えてくれる(2024年)	4.8	4.4

保護者対象学校評価アンケート		2023年	2024年
問1	学園小に入学させてよかった。	4.6	4.6
問2	学園小は、基礎学力向上を目指して努力している。(2023年まで) 子どもは授業を通して、確実に学力が身についている。(2024年)	4.2	4.0
問3	先生の教え方は、工夫されていてわかりやすい。(2023年まで) 授業の指導方法や内容に工夫がなされている。(2024年)	4.3	4.1
問4	学園小は、子どもの主体性・自主性をはぐむ環境が整っている。	4.5	4.3
問5	子どもたちは、まじめに授業を受けている。(2023年まで) 子どもは意欲的に学習するように努めている。(2024年)	4.2	3.9
問6	学園小の行事は、楽しく充実している。	4.7	4.7
問7	学園小の「学校のきまり」は、いいきまりだ。	4.4	4.1
問8	先生は、きまりやマナーの指導に力を入れている。	4.2	4.0
問9	子どもは、きまりやマナーを守っている。	4.0	4.1
問10	子どもは、児童会活動や係の活動をがんばっている。	4.5	4.5
問11	子どもの友達関係は、うまくいっている。	4.3	4.2
問12	先生と子どもは、うまくいっている。	4.5	4.5
問13	先生は、けんかやいじめがあつたら、すぐに対応している。	4.3	4.3
問14	学園小の制服やランドセル・体操服は、気に入っている。	4.1	4.1
問15	学園での習い事は、楽しく充実している。	4.1	4.0
問16	学校の施設設備は、安全を考慮し、整備されている。	4.2	4.2
問17	教室内を含めた学校の美化は、行き届いている。(2023年まで) 学校は、清掃や整理整頓が行き届いている。(2024年)	4.2	4.3
問18	生活状況や学習成績の通知は、わかりやすく行き届いている。(2023年まで) 生活状況の通知は、学級会や学級通信等で、分かりやすく行き届いている。(2024年)	4.3	4.1

教員自己評価集計 5年間経年変化表 令和6年12月7日作成

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	具 体 育 化 方 針 の 計 画	年 齢 関 心 教 育 計 画	機 能 的 中 心 の 運 営	有 効 研 究 会 議 の 機 会	基 礎 的 状 況 に 関 連 する 運 営	の 情 報 提 供 等 で の 提 供	練 等 急 時 全 対 策 訓 練	好 ま し い 子 ど も の 環 境	と 職 員 の 管 理 実 態	授 業 の 実 践 す い	学 習 意 欲 向 上	学 力 向 上	モ チ ウ 会 的 の マ ナ ー の 定 着	感 謝 意 の 成 り 上 り	保 護 者 と の 連 携
R6	4.2	3.9	3.7	4.1	3.7	3.9	4.1	3.3	3.4	4.5	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3
R5	4.5	4.3	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	3.6	3.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	人 権 意 識 向 上	の 自 然 環 境 向 上 保 全	能 力 の 提 高 指 導 技 術	関 心 の 指 導 に 関 連 する 指 導	主 体 性 を 重 視 し た 指 導	読 書 指 導	礼 儀 を 重 ん じ る 意 識	規 則 を 守 る 意 識	上 等 学 校 の 意 識	理 解 を 促 す 意 識	問 題 を 持 つ 意 識	進 路 相 談	教 育 生 活 交 換 指 導	計 画 的 な 研 究 職 業	個 人 的 な 研 究 職 業	外 部 有 限 公 司 の 研 究 職 業
R6	4	3.7	3.9	4.1	4.1	4.1	4	4.2	3.8	3.9	4.1	3.7	4.1	4.2	3.4	3.5
R5	4.3	3.8	4.1	4.5	4.4	4.1	4.2	4.4	4.1	4.3	4.6	4.0	4.0	4.4	3.5	3.5

* 分析と課題

児童及び保護者アンケートについて、問1・問 6 は高い評価を得ています。本校では 4 つの教育方針を掲げ、様々な行事や体験活動を通して、一人ひとりに培ってほしい自主性や協調性、社会性が育まれるように、教員と児童と一緒に取り組んでいます。あらためて、その意義を再認識し、より児童が楽しく充実した学校生活が過ごせるように邁進していく所存です。また、どの問いにつきましても概ね 4.0 以上の評価となりました。保護者の皆様や児童の肯定的な評価と受け止めています。しかし、それに満足するのではなく、よりよい学校づくりをめざしていかなければと身の引き締まる思いです。

ここからは今年度の課題と思われる点です。

問 2・問 3「授業を通して、確実に学力が身についている」「授業の指導方法や内容を工夫している」保護者アンケート問 5「子どもは意欲的に学習するように努めている」です。どの質問も評価が昨年と比べて下がっています。今後、指導要領に基づいた基礎学力の徹底とともに、学園小独自のカリキュラムや授業形態の再構築、児童が意欲的に学習できる環境作りを検討する必要があります。

問 7・問 8・問 9「学校のきまり」についてです。児童と保護者のアンケートでは、特に問 8 で差異が見られます。「学校のきまり」については、児童会でもよく話し合われる議題です。自分達の学校で作られる「きまり」は、子どもたちがよく考え、話し合い、みんながいいと思える「きまり」を作っていってほしいと願っています。その上で、みんなで決めたことを守ることは、より大切なことです。それに加えて、マナーは、社会の中で最低限のルールだといえます。教員の指導方法や対策を考え直し、子どもたちの決まりやマナーの意識が向上・徹底できる指導に努めていきます。

問 14「制服やランドセル」「学園での習い事」につきましては、昨年度から制服委員会を立ち上げ検討してきました。SDGS によりそい、児童が望む制服を目指していきます。また、学園での習い事につきましても、(株)イング、音楽教室、温水プール教室等と検討を重ねています。この学校アンケートでいただいた評価を参考に、次年度以降に子どもたちが楽しく興味もてる教室にできるよう努めます。

最後に、児童・保護者アンケートと教職員評価と照らし合わせてみますと、11「学習意欲向上」12「学力向上」において、意識の差異が見られます。教員は、学力向上に向けて授業を中心に取り組んでいますが、児童、保護者には実感しにくい点があったと思われる。今後、児童が意欲的に学習に取り組み、向上の変容を実感できるよう、教員は努力していく必要があります。

また、8「教育・子どもに好ましい環境」は、周辺地域の再開発や学校校舎・その他の改修工事が長期に亘っているため、落ち着かない環境になっているのも原因かと思われます。しかし、徐々にではありますが、工事も進み、環境も良い方向に変化していますので、もうしばらく様子を見続けていきたいと考えます。

最後に、30「個人研究・研修支援制度」31「外部研修内容の共有」については例年評価が厳しいと思われます。コロナ期に研修だけでなく、学校生活も思うままにならず、外部研修も続々と中止となりました。やっと現在通常の学校生活に戻り、研修も徐々に増えてきています。本校においても、研究や研修に参加することは、教員のみならず、児童や学校において大きな力になるものですから、今後多くの教員が取り組めるように奨励していく所存です。9「職員の勤務実態と健康管理」も同様に、望ましい姿に改善していけるよう、よりよい職場環境となるよう取り組んでいきたいと考えます。

学校協議会からの意見

〈小学校評価委員会を開催〉2025年2月実施

※アンケートの結果を考察して、以下の点について討議した。

①「きまりやマナーについて」

児童の評価が4を切っている項目があり、今後何が必要でしょうか。(問9)

- ・小学生は中学生や高校生を見ている。先輩がしっかりしていたら、小学生のマナーも向上する。学校での指導及び学園全体でのマナーの向上が必要。
- ・マナーに関しては、日々繰り返し啓蒙していくことが大切。
- ・みんな分かってないわけではないし、知らないわけではないが、子どもの成長によって、マナーについて気がつくタイミングをつくっていく。また、家庭のしつけも大切で、登下校については特に保護者の協力が必要。
- ・保護者のマナーも良くない場合があるので、子どもが保護者を啓蒙していくこと形もある。
- ・他者を思いやる子が少なくなってきたように思う。
- ・先輩が後輩を注意すると言うのが少なくなってきたので、学校内で、高学年が低学年の面倒を見る一緒に遊ぶだけでなく、しつけの面も注意をしていく。

②「学力や子どもの学ぶ意欲について」

保護者の評価が4を切っている項目があり、今後何が必要でしょうか。また、どのようなことを改善すればいいでしょうか。(問2 問5)

- ・保護者の意識レベルがどこにあるか。親の思っているところに、我が子のレベルが届いているのか。学力がついているかというのは、親が判断できることなのか。学校が判断できることなのか。
- ・設問が、「学校のことから、子どもは」と変わっている。授業を通してとあるが、授業だけで確実というのは難しいのではないかと。前年度までの質問「基礎学力向上を目指して努力している」というのはいろんなことを広げられる。前回の設問の方が腑に落ちた。
- ・今回の設問は、学校に対しての評価ではなく、我が子に対しての評価になってしまう。学校評価になっていないのではないかと。
- ・子どもたちは、自主研究がどういうものか理解しているのか。自主研究が探求的な学習につながるが、なかなか根付かない。
自主研究は、これからの教育現場、中学高校では絶対に必要となってくることなので、その基礎となることを小学校でしているのだが、それを子どもたちが分かっていないので、意欲的になりにくい。親を巻き込まないと難しい部分もある。最初に、自主学習はこれようにおこなう等のアナウンスを学校が保護者にしてくれると親と先生が同じ方向を向いて同じスタンスでいけると思う。
- ・学園小は他の私学に比べて、遊びから学ぶ。そこから調べることが、1年生の時から出来ていると感じていた。ただ、授業の中だけとなるとどうかとは思っている。
- ・教師から見たら、授業中挙手する子が多く、ハイハイを賑やかにしていたら、意欲的であると評価するかも知れないが、うるさくて集中できないと感じている子は、評価がさがっている野ではないかと思う。

③「習い事について」

児童・保護者とも評価が4を切っています。今後どのような見直しや改善が必要でしょうか。(問15)

・業務委託している会社と学校で、習い事に対する目的とか共有することが大切。1年間のスケジュールを周知するなど。

各教室で何を目標しているのか。みんなで楽しくきっかけ作りでおこなっているというスタンスなのか、上達させるまで面倒を見ますなのか、それによって指導の要領が変わってくるので、何を目標しているのか、各教室に入る前にはっきりと伝えた方がいい。

・気になることがあって、詳しく知りたいが、講師の先生に連絡を取りにくい。チャンバラ教室は、2人の先生で見るには児童の人数が多いし、参観していて、児童は自由にしているように見える。きっちりけじめをつけながらやった方がいいと感じた。

④「タブレット学習について」

※2025年度より4年生から各自1人1台Ipadの学習が始まります。高学年からの1人1台でタブレット学習を行うことや、タブレットを使った学習全般について、ご意見を伺います。

・タブレットをすることによって、子ども同士の課題に対しての話し合い、先生との会話とかがなくなるんじゃないか。タブレットであるから、質問も回答もタブレットの中であるから、先生と児童との直接のやりとりがなくなると思う。経験していないので未知数だが、それが心配。

・タブレットを配布する前に、子どもたちに講習をしたり、保護者にもアナウンスをしていく必要がある。SNSに関しては、学校がかなり監視していることなど、最初に言っておくと、余計なトラブルも起きないと思う。

・タブレットを持っていたら、自分で調べて自己解決することが多くなり、コミュニケーションが少なくなる。人を思いやるとかそういうところがこれからどうなるのか心配。

・親が、宿題をしているのか、プリントやノートならわかりやすいが、タブレットは何をしているか、遊んでいるのか勉強しているのか分かりにくい。親がよけい見えなくなってくる。

・視力が落ちる面も気をつけないといけない。

・タブレットに慣れるの大事だけど、はまったり、依存するのは怖い。規制をしてもすり抜けていく。

・タブレットを活用している中学校では、面談の返事などを子どものタブレットを通して返事している。紙での配布物は減っている。

④「学校全体・その他」について

・児童全体の評価の経年変化だけでなく、6年生の児童を対象として3年生からのアンケートの経年変化を見取ることも必要。

・改善点を教員を含めて全体に話し合う。なぜ、3や4と思うのか。教員にも聞いてみる。

私学は移動がないのでその点を活用していく。慣れては困る。

・学園に来て良かったという評価(問1)が、毎年、結果が良い。この評価は、トータルのもの。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中 期 的 目 標	今 年 度 の 重 点 目 標	具 体 的 な 取 組	評 価 指 標	自 己 評 価
1. 建学の精神を土台とした私学の独自性	建学の精神の理解と実践と教育計画の構築	①職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。 ②小学校教育指針に基づく教育計画を構築し、実践します。	①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5) ②年間教育計画に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.3)	①教育方針の具体化に関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しませんでした。 ②年間教育計画に関する教員自己評価は 3.9 で目標に達しませんでした。
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり	(1)基礎学力の徹底	一人ひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。	保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度 4.2) 学力向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)	保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価は 4.0 で目標に達しませんでした。 学力向上に関する教員自己評価は 4.4 で目標に達しませんでした。 教員は、学力向上の方法を研究精選し、児童の基礎学力向上に努めます。
	(2)独自のカリキュラムづくり	①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせ、より子どもたちがわかりやすい授業を実践します。 ②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。 ③児童自身が考え、提案し、自発的に運営していきけるクラブ的な活動(Enjoy 活動)をさらに精選し、構築していきます。	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.4 以上、児童 4.5 以上に向上します。 ②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和 5 年度 4.5)	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価は保護者 4.1、児童 4.3 で目標に達しませんでした。 ②③わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価は 4.5 で目標に達しませんでした。 ③Enjoy 活動は 2 年目となり、児童が発案し、立ち上げたクラブや新たなクラブも作られ実践した。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
	(3)教員の指導力向上	<p>①教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上を目指します。</p>	<p>①計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 5 年度 3.5)</p>	<p>①計画的な教員研修に関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しませんでした。</p> <p>②今年度は学年別研究部会とし、教員同士の授業参観や教材研究をし、授業力向上に力を入れた。また、外部講師野沢智子氏(国語科文芸読解研究)を招聘し、特に国語の読解文研究に努めた。</p>
3. 自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成	(1)基本的生活習慣の育成	<p>①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。</p> <p>②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を組み入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。</p>	<p>①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 5 年度 4.2)</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.6 以上に向上します。(令和 5 年度 4.5)</p> <p>主体性重視に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)</p>	<p>①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価は 4.0 で目標に達しませんでした。</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価は保護者 4.3 で目標に達しませんでした。</p> <p>主体性重視に関する教員自己評価は 4.1 で目標に達しませんでした。</p>
	(2)規律遵守の向上	規律遵守の意識レベルの向上を図ります。	<p>児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導力を入れている」の評価を児童 4.6 保護者 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度 児童 4.5 保護者 4.2)</p> <p>規則を守る態度に関する</p>	<p>児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童 4.6 で目標に達しましたが、保護者 4.0 で目標に達しませんでした。</p> <p>この項目は今年度児童</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
			教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 5 年度 4.4)	<p>の質問の書き方を変更したため、児童と保護者の数値に差の開きが見られます。</p> <p>規則を守る態度に関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しませんでした。</p>
4. 社会性を培う集団活動の充実	社会性や市民性を育む体験活動	<p>①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。</p> <p>②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。</p> <p>③低学年(2年)の宿泊行事を企画し、それぞれの学年における体験活動のねらいや学習活動を系統立てながら実践していきます。</p> <p>また、体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。</p>	<p>①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童 4.5 保護者 4.4 以上に向上します。(令和5年度児童 4.4 保護者 4.3) 学習意欲の向上に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和5年度 4.5)</p> <p>③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者 4.7 以上、児童 4.9 以上に向上します。(令和5年度児童 4.8 保護者 4.6)</p>	<p>①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価は児童 4.3 保護者 4.2 で、目標には達しませんでした。</p> <p>学習意欲の向上に関する教員自己評価は 4.4 で目標には達しませんでした。</p> <p>③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者 4.7 目標に達していますが、児童 4.8 で目標には達しませんでした。</p> <p>新たな行事も増えたことや、一つ一つの体験や行事も充実した体験活動に改善できた。</p>
5. 主体的な生き方の尊重	主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成	<p>①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。</p> <p>②人権教育</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和5年度 4.5)</p> <p>②人権意識向上に関する</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.3 で目標には達しませんでした。</p> <p>②人権意識向上に関する</p>

中 期 的 目 標	今 年 度 の 重 点 目 標	具 体 的 な 取 組	評 価 指 標	自 己 評 価
		人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。また、いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。	る教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和5年度 4.3)	る教員自己評価は 4.0 で目標に達しませんでした。 人権教育についての取り組みが、学年によって違ったため、今後継続的な物となるよう再構築します。
6. 安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実	(1)防災教育・不審者対策	児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討し、訓練を実施し、校内の安全性を高めます。 また、災害に備えて備蓄品を整えます。	緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和5年度 4.3)	緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価は 4.1 で目標に達しませんでした。
	(2)危機管理と情報モラル	①自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立っています。 ②「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。	①防災や安全に関する指導の教員自己評価 4.6 以上を目指します。(令和5月年度 4.5) ②マナー・モラルに関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和5年度 4.4)	①防災や安全に関する指導の教員自己評価は 4.1 で目標に達しませんでした。 今年度小学校内で「危機管理マニュアル」を作成し、教職員に安全の徹底を図った。 ②マナー・モラルに関する教員自己評価は 4.2 で目標に達しませんでした。 特に登下校のマナーが問題点と考えられ、指導すると共に、実際に巡視も行った。
	(3)美化	①落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。	①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.1 保護者 4.3 以上に向上します。(令和5	①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童 4.2 で目標に達していますが、保護者は 4.3 で

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>②子どもに好ましい環境を目指し、遊具等の設置や補充を計画するとともに、老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。</p>	<p>年度児童 3.9 保護者 4.2) 美化に関する教職員の自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 5 年度 4.1) ②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.3 以上に向上します。(令和 5 年度保護者 4.2) 好ましい環境に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 5 年度 3.6)</p>	<p>目標に達しました。 美化に関する教職員の自己評価は 3.8 で目標に達しませんでした。 ②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価は 4.3 で目標に達しました。 好ましい環境に関する教員自己評価は 3.3 で目標に達しませんでした。 校舎3階 7 教室のロッカーの入れ替え、教室と廊下の床の入れ替え、壁の塗り替え。校舎外壁の修理と塗り替え、屋上漏水対策等大がかりな改修を行いました。</p>
7. 内部連携の強化	内部連携の強化	<p>①中学校 小中の系統的な学習が重要であることを自覚し、小学校・中学校それぞれの教員の専門性を融合させ、質の向上に努力します。私学における 9 カ年の小中連携のカリキュラムや実践方法を協議し、組織的・計画的な取り組みを模索します 授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 幼小連絡会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。</p>	<p>①令和 5 年度は、中学内部進学者 56 名(62%)でした。(91 名中)(令和 6 年度中学入学者) 令和 6 年度学園中学進学は、内部進学者 70% 以上を目標とします。 また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。</p> <p>②令和 5 年度(令和 6 年度生)は、幼稚園からの内部進学者は 34 名でした。</p>	<p>①令和 6 年度は、中学内部進学者 57 名(63%)でした。(91 名中)(令和 7 年度中学入学者) 令和 6 年度学園中学進学は、内部進学者 70% 以上を目標とします。 また、将来に向け、小中連動のあり方を模索します。</p> <p>②令和 6 年度(令和 7 年度生)は、幼稚園からの内部進学者は 37 名でした。 令和 7 年度(令和 8 年</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>絵本読み聞かせや合同物作り体験を設け、小学校の活動に親しんでもらい、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p>	<p>令和6年度(令和7年度生)は、内部進学者45名以上を目標とします。</p>	<p>度生)は、内部進学者45名以上を目標とします。総合学園として幼稚園から小学校、中学校へと児童が健やかに成長し、円滑に進学できるよう、それぞれの校園の教員と連携、協議していきます。</p>
<p>8. 児童募集の対策</p>	<p>児童募集対策</p>	<p>①学校ホームページや広報活動(パンフ配布)などの活動を拡充します。</p> <p>外部幼稚園や幼児教室での入試説明会や体験授業の実施し、外部からの受験者増加につなげます。</p> <p>②外部幼稚園や幼児教室への広報活動を拡充します。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価4.3以上を目指します。(令和5年度4.0)</p> <p>②令和5年度(令和6年度入学生)は79名でした。(令和6年1月現在)</p> <p>令和6年度は集定員充足90名以上を目標とします。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価は3.9で目標に達しませんでした。</p> <p>②令和6年度(令和7年度入学生)は67名でした。(令和7年1月現在)</p> <p>令和7年度は集定員充足90名以上を目標とします。</p> <p>ホームページでの広報活動に限らず、インターネットでの広報活動を拡充し、学校紹介や入試相談会を認知してもらい、受験者増加につなげていった。</p> <p>次年度に向けて、進学予定者の幼稚園やこども園と幼小連携で話し合った。</p> <p>また、入試説明会やオープンスクールを計画し、本校を周知し、理解してもらえる機会を実施していく。</p>

